



本事業コーディネーターの吉本 尚 講師が 「明日の象徴」を受賞しました♪



プレゼンターは審査委員のお一人
宇宙飛行士の向井千秋さん

「明日の象徴」は、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本病院会、サノフィ株式会社が共催し、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、福祉自治体ユニットが後援する賞で、その顕彰のサブタイトルを「健やかな日本の明日を築く、若い世代のイノベーション追求を称える」としています。

平成23年に東日本大震災の後、各地域における復興へ向けた取り組

「明日の象徴」は、医療、保健、ライフサイエンスの分野で活躍している35歳以下の期待の精鋭の活動を顕彰いたします。

若い人々の活動に光を当てることで、若い世代全体にイノベーション追求の機運が広がること、またそれを奨励、促進する環境を醸成することが目的です。

イノベーションを通じて国民の健康を促進し、健やかな日本の明日を築きます。また、やる気ある優秀な人材を育て、世界的な競争力を高め、産業の育成を目指します。

(「明日の象徴」HPより転載)



イメージキャラクター
ジェネラルT先生

みの中で、多大なる貢献をされてきた方々を顕彰した「希望の象徴」、翌年の「復興の象徴」を継承する意味深い賞で、「明日の象徴」としては今回が第3回となります。

受賞した吉本尚講師は、「このような素晴らしい賞をいただき、大変うれしく思います。また本受賞に際し、御所にて拝謁の栄を賜り、天皇皇后両陛下と15分ほど総合診療、地域医療を担う人材の重要性について意見交換させていただく機会を得ました。この事は、日本の総合診療／家庭医療分野の関係者に活力を与えていただく機会となったと確信しております。私自身、総合診療、地域医療に貢献する人材の育成により一層励み、住民の方々のお役に立てればと心より思っております。」と力強く、笑顔でコメントされました。

授賞式に出席の本事業推進責任者の前野哲博教授は、「推薦者の紀伊國献三先生（笹川記念保健協力財団会長、筑波大学名誉教授）や審査委員の向井千秋さん（JAXA 宇宙医学研究センター長、宇宙飛行士）を始めとした多くの関係者の皆様から、家庭医療や総合診療への大きな期待が示され、本院の事業が果たす役割の重要性を改めて認識する場となりました。」と話されました。

吉本講師の受賞者紹介においても、「母校の講師として、かつ文科省拠点形成事業「次世代の地域医療を担うリーダーの養成」の事業コーディネーターとして、地域の実態を十分に把握し、地域における包括的ケアの実行ができる医療従事者の育成と継続的成長モデルの実現が期待されている」と記され、**本事業の今後の推進に弾みのついた受賞**でした。

※「明日の象徴」については、以下 URL をご参照ください。

<http://www.ashitanoshochi.com/2014/0924/143004>



左から、審査委員の向井千秋さん（JAXA 宇宙医学研究センター長）、吉本尚講師、推薦者の紀伊國献三先生（笹川記念保健協力財団会長）

